

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	教育課程論 (Educational Program)		
ナンバリングコード	K20106	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	教職関係科目(必修)		
授業コード	K005951	クラス名	-
担当教員名	石橋 修		
履修上の注意、履修条件	教職を志望しており、教職に魅力を感じ、教職に求められる役割を習得する意欲を有していること。教育に関する幅広い分野を対象に学ぶので、新聞の教育記事などにも日常的に目を通す習慣をつけておくこと。なお、出席カードの配布以外に、毎回提出のミニレポートや振り返りシートでも出欠のチェックをします。予習・復習課題も毎回提出を求められるので授業開始前と授業終了後に提出を忘れないでください。		
教科書	指定教科書はありません。毎回、授業内容に対応したプリント資料を作成・配布します。		
参考文献及び指定図書	田中耕治『よくわかる教育課程 第2版』ミネルヴァ書房,2018		
関連科目	教育原理、教育方法論等、教職に関する全科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	この授業の目的は、①学校教育における教育課程の意義や目的を認識し、学習指導要領の変遷、性格、位置づけ等について説明できる。②教育課程編成の基本原則を理解し、地域の実態に即した長期的・横断的教育内容編成等について説明できる。③カリキュラム・マネジメントの重要性やカリキュラム評価等について説明できる。以上の目的を達成するために学習評価の4観点を念頭に授業を展開します。
授業の概要	本講義においては、教育課程が学校や子ども、各地域の実態等に基づき計画的に組織・編成された教育活動プログラムであることを念頭に、その基準となる学習指導要領の理解を踏まえ、カリキュラム・マネジメントの意義や重要性について学ぶ。教育課程に関連する理論、歴史的変遷、実践面や政策面の全般についても概観しながら、新学習指導要領改訂動向の説明も加えて講義を進めていきます、
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング グループワーク
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	本授業に関連する高等学校教員(昭和56年4月～昭和64年3月)として社会科科目を担当した実務経験をもとに実践的教育を行う。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教職の授業にふさわしい態度で、授業内容への興味関心を持ち、意欲的に学習できる。	10点	10点	
【知識・理解】	授業で扱う知識や事実等について正確に理解し、自分なりの言葉で適切にまとめることができる。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学んだ内容に関する質問に適切に回答し、感想記録にも知識・理解の内容を十分に表現できる。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	学んだことを振り返り、意味づけや自分なりの考察ができる。	10点	10点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
毎回、講義終了後に講義内容に関連した予習課題プリントと復習課題プリントを配布し評価します。また、ミニレポートや参加態度は、振り返りシートの内容や提出物の有無も考慮しながら、受講生仲間への配慮や、学びへの真摯さなど、教師として求められる資質について評価します。				

○その他
授業に関連する質問や相談は、授業終了時と担当授業がない時間帯に研究室で受け付けます。また、不在時には研究室前の連絡版に伝言いただければ対応します。課題やレポートはチェック後に全体的な講評をして受講生にフィードバックします。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：教育課程論 (Educational Program) 担当教員：石橋 修	授業コード：K005951
学修内容		
1. オリエンテーション シラバスを基に15回の授業計画について説明し、15回の講義への見通しを明確にします。授業効果を図り、授業への動機づけ対応も考慮しながら、教育内容、教育方法、評価基準にも言及します。		
予習：教育課程の意義や役割に関連した予習課題プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習課題プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
2. 教育課程の意義と役割 学校教育の根幹でもあ学力向上に関連する教育課程が有する機能や役割、意義の理解に資する資料提示や解説をしながら、教育課程が社会において果たす役割等についても深い理解を促します。		
予習：教育課程編成の基準となる学習指導要領や幼稚園教育要領について予習プリントを作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習課題プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
3. 教育課程編成と学習指導要領・幼稚園教育要領について 教育課程の基準となる学習指導要領や幼稚園教育要領の有する性格や役割、位置づけについて解説し、併せて教育課程編成の重要性についての認識を深めます。		
予習：教育課程の歴史的把握に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習課題プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
4. 教育課程の歴史的変遷 国内外における教育課程の捉え方を歴史的に考察することで、教育課程についての認識を深めさせるために、関連する基本資料を配布します。資料をベースに、歴史的考察から導かれた課題などについても詳細に理解を促します。		
予習：今日における教育課程を取り巻く動向に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習課題プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
5. 21世紀の教育課程の動向 国内外の教育課程を取り巻く状況に触れ、OECDでも提起されたコンピテンシーを念頭に、21世紀に要請される能力・資質を高める在り方について学びます。		
予習：教育課程編成の基準となる学習指導要領や幼稚園教育要領について予習プリントを作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
6. 教育課程の編成とは すべての教員が教育課程の編成についての認識を深めることが、必要不可欠です。教育課程の編成の基本原則を理解し、さらには学校の教育実践に即した教育課程編成の方法にも触れた内容理解を図ります。		
予習：カリキュラムマネジメント理解に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習課題プリントを配布しますので、次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
7. カリキュラム・マネジメントを考える 教科・領域・学年をまたいだカリキュラム把握や、学校教育課程全体のマネジメント能力の養成が求められていることを解説し、新学習指導要領で強調されているカリキュラム・マネジメントの考え方についての学びを深めます。		
予習：教育課程の法と行政に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
8. 教育課程の法と行政 教育課程は、法規上の基準に適合していることが求められます。授業では、教育行政から見た教育課程について、初等中等教育における教育課程に関する法規の体系とすの主な内容を確認するとともに、学校における教育課程の管理運営の実態を概観し、理解を深めます。		
予習：学力観に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
9. 学力観を問う 学習指導要領の変遷を理解しながら、「ゆとり教育」、「新しい学力観」、「生きる力と総合的な学習の時間」、「知識基盤社会と確かな学力、2017年度版学習指導要領「資質・能力」などについての認識を深めます。		
予習：アクティブラーニングに関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
10. 主体的・対話的で深い学びの方法とは 政策課題となったアクティブラーニングは、主体的・対話的で深い学びとしての意義が重要であり、一斉指導と個に応じた指導との関連においても理解が求められている。授業の構成要素としてのアクティブラーニングの問題についても理解を促します。		
予習：教育課程と評価に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
11. 教育課程と評価について 真正の評価が問われる昨今、測定中心の評価から問題解決の評価、あるいは資質・能力を育む教育評価がクローズアップされています。評価計画に基づくポートフォリオの作成等の説明も加え、教育評価への認識を深めます。		
予習：指導計画の基礎理解に関連する復習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
12. 指導計画の基礎を学ぶ 教育課程編成の方法についての基本原則の理解を深め、長期的な視野から、児童・生徒や地域の実態を踏まえた教育課程や指導計画の検討の重要性の認識に繋げる学びを展開します。		
予習：指導計画の作成の実際に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
13. 指導計画作成の実際 指導計画の基礎の学びの成果を具体的に視覚化する意味でも、これまでの指導計画作成事例の検討や理解を反映させながら、グループ作業も導入しながら、指導計画の作成過程を通して理解や学びの定着を図ります。		
予習：諸外国の教育課程に関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
14. 諸外国の教育課程 諸外国の教育課程をめぐる動向を把握し、我が国との比較の視点から教育課程の多様性や歴史的なアプローチの重要性について説明します。具体的には、アジア(中国、韓国)、ヨーロッパ(イギリス、フランス、フィンランド)やアメリカの動向を解説します。		
予習：教育課程の今日的課題にに関連する予習プリントを配布しますので、次回までに作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを次回までにまとめる作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
15. 教育課程の今後の課題について 教育課程をめぐる諸問題(保・幼・小の連携、食育、危機管理、科学する心と学力の育み、情報リテラシー)について理解しながら、それぞれの問題関心に即して掘り下げていく重要性について解説します。		
予習：これまで扱った内容を補足する復習プリントを配布しますので、試験対策も含め、予習復習を作成してください。(約2.0h)		(約2.0h)
復習：本時で扱った内容に関連する復習プリントを配布しますので、見直し、振り返りの作業をしてください。(約2.0h)		(約2.0h)
16. 期末試験 15回分の講義内容について試験を行います。		
予習：		(約2.0h)
復習：		(約2.0h)